

参考資料 シマトネリコに関する由来や話題など

シマトネリコに関する由来や話題などをまとめてみました。
店頭での話題などにお使い頂ければ幸いです。

○シマトネリコの名前の由来

シマトネリコのシマは、沖縄などの南国諸島にたくさんあることから付けられています。
トネリコに関しては諸説あります。

○写経用材としてのトネリコ

一つは、写経の際に、トネリコの樹皮を煮て液状にし、それを墨と混ぜて練り濃くしたものを
使っていたため「共に練り濃くする→トモニネルコ→トモネリコ→トネリコ」というものです。

○バット材としてのトネリコ

木材としてのトネリコは、弾力性に優れているため、家具やギター、バットの材料として
好んで使われています。

○弓材としてのトネリコ

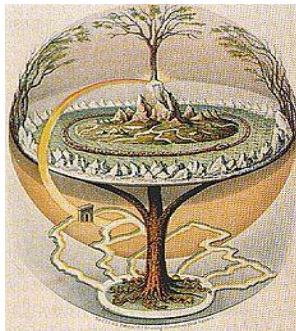
弾力に富み、昔は弓の材料として重宝されていました。
縄文時代の鳥浜遺跡(福井県三方町)から、トネリコ製の弓が出土しています。

○和製オリーブ

見た目が似ている？こと、常縁樹であることからシマトネリコは和製オリーブともいわれます。

○世界樹ユグドラシル

北欧神話における世界樹ユグドラシルはトネリコであるといわれています。
正確にはセイヨウトネリコですが、日本では単にトネリコと訳される事が多いです。
北欧神話では、9つの世界があり、その全てはこのユグドラシルに在るとされています。
故に、世界を体現しているため、世界樹もしくは宇宙樹と称されています。



また同じく北欧神話では、最初の男子はトネリコの流木から
創られたといわれています。

子供の日にトネリコを与えると元気な子に育つ！？
かもしれません…